

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニク科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	2年前期	単元	実習	教科名	シャシ2A
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	二級自動車整備士（総合）		発行日
総時限	28				
総時間	44.8				教科 担当
					2026年3月25日 小池 進矢 杉田 捷
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備の実務経験がある教員によりシャシ 2 Aの内容について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） 1. トルクコンバータの構造、作動、性能を理解させる 2. プラネタリギヤの構造、作動、計算を理解させる 3. ギヤユニットの構造、作動、点検を理解させる 4. 油圧制御の概要、変速制御の仕組みを理解させる 5. 無段階自動変速機（C V T）の仕組みを理解させる					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか） 1. トルクコンバータの構造、動力伝達を理解する。 2. トルクコンバータの性能曲線図を理解し、トルク比・速度比の計算ができること。 3. プラネタリギヤの作動を理解し、ギヤ比の計算ができること。 4. A T内部の制御要素の配置、役割を理解する。 5. A Tの変速時の動力伝達を理解する。 6. A Tの部品の名称を理解していること。 7. C V Tの作動を理解する。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習 ・2級自動車整備士（総合）（第2章.Ⅱ P.83～117） 予習しておくこと。 ・マニュアルトランスミッションは2級では少ししか記載されていない為、復習しておくこと。					
6. 学修時間と単位 本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。					

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	2年前期	単元	実習	教科名	シャシ2A	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	AT車の特徴説明				RE4R01A型AT	10
2	AT車の概要説明				プラネタリ・ギヤ模型	
3	AT車の概要説明				A T 分解台	10
4	プラネタリ・ギヤ解説				エアホース	30
5	プラネタリ・ギヤ練習問題				エアホース2分岐	10
6	トルクコンバータ脱着練習				エアホース5分岐	2
7	AT分解				エア・レギュレーター	2
8	AT分解				スナッピングプライヤ	10
9	AT分解&スケッチ				オイルポンプスタンド	10
10	ギヤトレーン解説				オイルポンプスライドハンマ	10
11	ワンウェイクラッチ解説、バンドブレーキ解説				エアガン	20
12	各制御要素解説				ワセリン	
13	動力伝達解説					
14	動力伝達解説、各制御要素まとめ					
15	油圧制御式、電子制御式解説					
16	油圧制御式、電子制御式解説					
17	油圧コントロール解説					
18	油圧コントロール解説、制御油圧解説					
19	日産3級練習問題					
20	日産3級練習問題解説					
21	AT組付け					
22	AT組付け					
23	AT組付け					
24	C V T 分解					
25	C V T 分解					
26	C V T 組み付け					
27	総合復習					
28	実習試験					

※ 期末試験は授業時間に含まない

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	2年前期	単 元	実 習	教科名	シャシ2B
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品			発行日
総時限	28				教科
総時間	44.8				担当
			2026年3月21日		
			小池 進矢		
			杉田 捷		

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備の実務経験がある教員によりシャシ 2 Bの内容について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・サスペンションの構造、機能を理解する。
- ・フロントサスペンション（ストラット型）の分解組み付けができる。
- ・リヤサスペンション（トーションビーム型）の分解組み付けができる。

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ・サスペンションの構造、機能を理解する。
- ・フロントサスペンション（ストラット型）の分解組み付けができる。
- ・リヤサスペンション（トーションビーム型）の分解組み付けができる。
- ・サスペンションの部品名称を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	2年前期	単元	実習	教科名	シャシ2B	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	教科概要 導入				作業台	12
2	サスペンション座学				パーツキャディー	12
3	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				ガレージジャッキ（低床）	10
4	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				リジットラック	40
5	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				ブレーキオイルブリーダ	10
6	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				ブレーキオイル補給器	10
7	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				車両 B21W（デイズ）	5台
8	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				車両 B21A（デイズルークス	5台
9	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				寝板	10
10	セレナ・ルークスフロントストラット脱着 ロア・アーム脱着 実習				スピナーハンドル（差込角19.5	5
11	フロントストラット脱着 実習				32mm ソケット（差込角19.5	5
12	フロントストラット脱着 実習				30mm ソケット（差込角12.5	5
13	フロントストラット脱着 実習				十字 レンチ	5
14	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				六角 レンチ	10
15	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				ハブ フランジ ホルダー	5
16	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				タイロッドエンドプーラ	5
17	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				S字 フック	
18	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				針金	
19	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習				M10 1.25 ナット（タイロッド取外し用）	
20	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習					
21	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習					
22	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習					
23	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習					
24	セレナ・ルークスリヤ・サスペンション脱着 実習					
25	アライメント実習					
26	アライメント実習					
27	アライメント実習					
28	総合復習					

※ 期末試験は授業時間に含まない

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	2年後期	単元	実習	教科名	シャシ2C
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品			発行日
総時限	33				教科
総時間	52.8				担当
			2026年3月21日		
			小池 進矢		
			杉田 捷		

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備の実務経験がある教員によりシャシ2Cの内容について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
1. 制動倍力装置の構造、作動を理解する。
2. エア・ブレーキの構造、作動を理解する。
3. 整備結果説明を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）
1. 制動倍力装置の部品名称と作動を理解する。
2. エア・ブレーキの構成部品名称と単体部品ごとの構造作動を理解する。
3. 故障探求が行なえるように、故障現象を理解する。
4. お客様対応で整備結果説明を理解し実施できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

6. 学修時間と単位
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	2年後期	単元	実習	教科名	シャシ2C	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	概要説明／（エア・油圧ブレーキノート）				一体型真空制動倍力装置	10
2	エア・油圧ブレーキ解説				分離型制動倍力装置	10
3	エア・油圧ブレーキ解説				エア・コンプレッサ	5
4	エア・油圧ブレーキ解説				ドライヤ	5
5	エア・油圧ブレーキ解説				ブレーキ・バルブ	10
6	フルエア式ブレーキ解説				リレーバルブ	10
7	フルエア式ブレーキ解説				エア・マスター	5
8	フルエア式ブレーキ解説				日産3級科目別プリント(冊子)	48
9	フルエア式ブレーキ解説				デイズ	1
10	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習				パソコン一式（ESM用）	3
11	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
12	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
13	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
14	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
15	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
16	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
17	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
18	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
19	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
20	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
21	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
22	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
23	ディスクブレーキ、ドラムブレーキ、お客様対応 練習					
24	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
25	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
26	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
27	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
28	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
29	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
30	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
31	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
32	エア・ブレーキ構成部品分解組付け					
33	総合復習					

※ 期末試験は授業時間に含まない

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	2年後期	単 元	実 習	教科名	シャシ2D
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品			発行日
総時限	31				教科
総時間	49.6				担当
			2026年3月21日		
			小池 進矢		
			杉田 捷		

1. 指導教員の実務経験
該当
 非該当

自動車整備の実務経験がある教員によりシャシ 2 Dの内容について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ボディーコートについて学ぶ
- 車両内装品の脱着から部品の取扱い方法や注意点を学ぶ
- リア・アクスルの脱着作業とブレーキ配管のエア抜き作業。
- タイヤチェンジャーの使用方法を学ぶ
- タイヤバルンサーの使用方法を学ぶ

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- お客さまの車両（実習車両）の取り扱い方法を理解する。
- 安全、確実、スピーディな作業姿勢を体感し、身に付ける。
- 点検作業に付帯する、定期点検部品の交換作業ができるようになる。
- ブレーキエア抜き作業が確実にできるようにする。
- タイヤ交換、バルンサーの使い方、使用上の注意を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- 合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- 不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- 再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

自動車整備科、一級自動車工学科、
自動車整備・カーボディマスター科、
自動車整備・マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	2年後期	単元	実習	教科名	シャシ2D	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	実習概要説明・安全作業				アトラス（F24）	5台
2	A:アトラス リア・アクスル取外し		B: ルークス 内装取り外し		DAYZルークス	5台
3	A:アトラス リア・アクスル取外し		B: ルークス 内装取り外し		トルクレンチ（プリセット140N	10個
4	A:アトラス リア・アクスル取外し		B: ルークス 内装取り外し		リジットラック	10台分
5	A:アトラス リア・アクスル取付け		B: ルークス 内装取り外し		ウエス	適量
6	A:アトラス リア・アクスル取付け		B: ルークス 内装取り外し		油圧ジャッキ	10台
7	A:アトラス リア・アクスル取付け		B: ルークス 内装取り外し		パーツ キャディ	10個
8	A:タイヤチェンジャー 練習		B: ルークス 内装取り外し		バット	10個
9	A:タイヤチェンジャー 練習		B: ルークス 内装取り外し		27mm スパナ	5個
10	A:タイヤチェンジャー 練習		B: ルークス 内装取り外し		ボディコート剤	適量
11	A:タイヤチェンジャー 練習		B: ルークス 内装取り外し		内張りはがしリムーバ	20本
12	A:タイヤバルンサー 練習		B: ルークス 内装取り外し		フェンダ カバー	10
13	A:タイヤバルンサー 練習		B: ルークス 内装取り外し		グリル カバー	10
14	A:タイヤバルンサー 練習		B: ルークス 内装取り外し		足マット	10
15	A:タイヤバルンサー 練習		B: ルークス 内装取り外し		ハンドル カバー	10
16	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取外し		シート カバー	10
17	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取外し		シャシ科目別プリント	10
18	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取外し			
19	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取付け			
20	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取付け			
21	A:ルークス 内装取り外し		B:アトラス リア・アクスル取付け			
22	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤチェンジャー 練習			
23	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤチェンジャー 練習			
24	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤチェンジャー 練習			
25	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤチェンジャー 練習			
26	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤバルンサー 練習			
27	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤバルンサー 練習			
28	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤバルンサー 練習			
29	A:ルークス 内装取り外し		B:タイヤバルンサー 練習			
30	総合復習					
31	総合復習					

※ 期末試験は授業時間に含まない